

国土交通省 中部地方整備

天竜川上流河川事務所 遠山川砂防出張所

天竜川上流工事安全協議会 遠山川支部

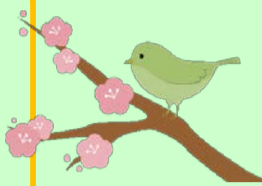
平成30年度第11号 (平成31年2月発行)

# カモシカ通信



2月に入りましたが、暖冬のおかげか雪も少なく、日増しに春の訪れを感じています。日中の暖かさを感じる一方、まだまだ朝晩の寒暖差がある中で、年度末に向けて忙しくなる季節ですが、体調管理には皆様十分お気を付けてください。

今月のカモシカ通信は、「平成30年度 天竜川水系尾尾余ヶ沢砂防堰堤工事用道路工事」の進捗状況のと「飯田線 伊那小沢駅のカンザクラ」をご紹介します。



## 平成30年度 天竜川水系尾尾余ヶ沢砂防堰堤工事用道路工事



池端工業株式会社

現場代理人 監理技術者

柳澤 洋輔 池端 崇一郎

天龍村折立地区で施工を行っている「平成30年度天竜川水系尾尾余ヶ沢砂防堰堤工事用道路工事」の進捗状況を紹介いたします。尾尾余ヶ沢に砂防堰堤を施工する為の工事用道路を施工する工事で、8月の連休明けから作業を始めましたが、9月と10月に日本列島に上陸した台風や大雨により遠山川の水位が上昇した為、なかなか河川内での作業ができませんでした。遠山川の水位が下がり、河川内での作業が可能となった11月下旬から、大型かご枠設置の為の掘削に入りました。掘削作業からは湧水や遠山川からの浸透水との戦いでした。掘削深さが遠山川の水位より約2m深いため、遠山川側から大量の浸透水が発生したのです。その水量は、1分間に約25m<sup>3</sup>(25mプール(600m<sup>3</sup>)が24分で一杯になる量)になります。

排水の為に4台の大型水中ポンプを常時フル稼働しながら作業を行いました。



台風24号で増水した遠山川



盛土による作業場所の確保



大量に発生した掘削中の湧水



排水の為に水中ポンプがフル稼働

12月上旬からメインの大型かご枠設置の作業に入りました。1段が約110m<sup>2</sup>あり、全部で7段:909m<sup>2</sup>施工します。大型かご枠の組立→詰め石→背面の埋戻しという作業を行っています。1番時間のかかる作業は詰め石の作業で、大きさはバレーボールくらいの石を作業員が崩れないように積んでいきます。常に中腰の姿勢での作業や石で指を詰めたりと大変な作業ですが、みんな頑張って作業を行います。残すところ、大型かご枠の設置が2段:214m<sup>2</sup>となりました。そして、路体盛土と遠山川の整地・片付けを行ってすべての作業が完了します。

工事は3月末までと残り約1ヵ月となりました。今まで無事故・無災害で作業してきたので、残りの期間も安全第一に作業を行います。工事完成まで工事車両の通行や交通規制等で地域住民の皆様にはご迷惑をお掛けしますが、ご理解、ご協力の程宜しくお願い致します。



大型かご枠組立状況



大型かご枠 組立完了



手作業による詰石作業



完成した大型かご枠

## 信州に春の訪れを 伊那小沢駅 カンザクラ

2月17日 冬晴れの中、記念すべき50回目を迎えた「天龍梅花駅伝」が開催されました。参加した127チームの選手達が雄大な天竜川と春を感じさせる南信州の大自然を背に、6区間36.75kmでたすきをつなぎました。

そして、長野県でも早くに開花し、春を知らせる伊那小沢駅にあるカンザクラも蕾がふくらみ開花し始めました。写真は、2月20日に撮影しました。1936(昭和11)年に三信鉄道の伊那小沢駅が開業したときの記念として三本のカンザクラが植えられたとされています。その後、周辺にも河津桜や山桜などが植樹されて、3月上旬から桜を楽しむことができます。また、伊那小沢駅から見える雄大な天竜川と水神橋とのコラボレーションも見所です。



カンザクラの蕾



天竜川と水神橋